

# 海外乳製品市況

## 全粉乳・脱脂粉乳

ニュージーランド(以下NZ)の8月の生乳生産量はDCA(乳製品会社協会) NZによると前年比9.2%増、一昨年比24.7%増となっており、ピーク水準にある直近では前年比4%増となる見込みです。

異常気象等の懸念材料もありましたが牧草の生育は良好で、生乳生産の上昇を受け、Darfieldに出来たFonterra社の巨大新工場はフル稼働している模様です。サプライヤーは生乳を確保しながら、中国の強大な全粉乳需要に対する製造予定を注視しています。また、全粉乳の製造に押されて脱脂粉乳の製造が減少している地域もある模様です。豪州の生乳生産は季節柄ピーク水準に達する寸前ですが、直近の生乳生産は前年比1-2%減で推移しています。

タスマニア島は寒冷湿潤な気候により生乳生産量は僅かに減少しています。ビクトリア州もまた多雨に悩まされていますが、向こう3~4ヶ月はエルニーニョとラニーニャの中和要因で天候は落ち着くものと考えられています。牧草の生育状態は良好で、ビクトリアとニューサウスウェールズのリザーブ価格(乳価)は上昇しており、2013年11月から2014年6月までの一般的な価格はUS\$6.3/kgとなっていますが、酪農家の経営状態は依然として悲観的です。乳製品価格に関し、輸出は高値推移傾向ですが国内消費は変動していません。Dairy Australiaより9月の生乳生産量は前年比3.5%減と報じられています。

全粉乳、脱脂粉乳に関し、10月15日のgDT(グローバルデーリートレード:Fonterra社主催の乳製品電子オークション)平均落札価格は全粉乳がUS\$5,058/メトリックトン:以下MT(▲2.9%)、脱脂粉乳はUS\$4,491/MT(+0.7%)となりました。

一方シーズン終盤の低調期にある欧州の生乳生産量は、夏場より前年比増の続いている国がほとんどで、昨年を上回っています。心配の種はクォータ制(生乳生産割当)の数量を超過する事です。堅調な乳価と手頃な飼料価格、良好な天候を受け直近の生乳生産は好調であるものの、2013年通年の生乳生産量は2012年を僅かに下回る予想です。粉乳の需要はあまり強くないため安値での取引も散見されます。gDTに欧州産脱脂粉乳で参加しているArla社は、10月15日のイベントには参加しませんでした。

### 相場動向(10月24日米国農務省調べ・港渡価格)

<input type="checkbox"/> オセアニア	全粉乳 : US\$4,950 - 5,300/MT	脱脂粉乳 : US\$4,350 - 4,675/MT
<input type="checkbox"/> 欧州	全粉乳 : US\$4,875 - 5,200/MT	脱脂粉乳 : US\$3,900 - 4,500/MT

## バター・その他乳脂肪

オセアニアバターは国内需要が堅調ですが、輸出需要は弱くなっています。先述の全粉乳需要を背景にプロダクトミックスは全粉乳に傾斜しており脱脂粉乳/バターは減少しています。アメリカのバター価格はさらに下落しており、もっとも競争力のある価格になっています。10月15日のgDT平均落札価格はバターがUS\$3,780/MT(▲3.5%)、AMF(無水乳脂肪)はUS\$5,007/MT(▲1.2%)となりました。

欧州のバター価格は依然高値推移しており、数量は限定されている状況から市場はあまり活発ではありません。クリーム価格は相対的に高値です。PSA(民間在庫補助)バターは10月1日までに2万3,800MTが市場に戻り、10月1日の全残量は6万5,544MTとなっています。

### 相場動向(10月24日米国農務省調べ・港渡価格)

<input type="checkbox"/> オセアニア	バター : US\$3,750 - 4,500/MT	
<input type="checkbox"/> 欧州	バター : US\$5,425 - 5,925/MT	バターオイル : 6,300 - 7,100/MT